

1 訪日外国人の来訪状況

集計対象(n):実訪問者数(訪問回数は関係ない)

国籍別の来訪状況

		糸魚川市 (2025/12～2026/2)		【参考】 全国
		滞在者	新幹線 通過者	
アジア	台湾	30%	30%	18%
	ベトナム	21%	13%	1%
	中国	6%	7%	10%
	香港	6%	7%	7%
	マレーシア	6%	2%	2%
	タイ	5%	3%	4%
	インドネシア	3%	3%	2%
	韓国	2%	1%	29%
	シンガポール	1%	2%	2%
	フィリピン	0%	1%	2%
南・北 アメリカ	インド	0%	1%	1%
	中東8カ国	0%	0%	0.3%
	米国	6%	16%	6%
	カナダ	1%	2%	1%
ヨーロッパ	メキシコ	1%	0%	0.4%
	英国	1%	1%	1%
	ドイツ	0%	1%	1%
	フランス	0%	0%	1%
	イタリア	0%	0.3%	0.4%
	スペイン	0%	0%	0.3%
	北欧4カ国	0%	0.3%	0.3%
オセアニア	ロシア	0%	0.3%	0.2%
	オーストラリア	11%	10%	3%
その他		2%	2%	6%
サンプル数 (n)		106	324	10,998,410

滞在の多い国籍

- 全国と比較して「台湾」「オーストラリア」の割合が高く、白馬でのウィンタースポーツを主目的として来日し、行程の中で糸魚川市に立ち寄っていると考えられる。
⇒滞在者増加が狙える国々である。趣向等に
着目し、さらなる誘客を図る必要がある。
⇒案内における言語対応も求められる。
- 「ベトナム」の割合も高いが、就労目的の
来訪者や、地域に居住する外国人就業者
の家族による来訪である可能性が高い。

滞在の少ない国籍

- 全国と比較すると「韓国」の割合が特に
低く、「中国」についても同様に低い傾向
がみられる。
- 新幹線通過者では「米国」の割合が特に高
く、糸魚川市を新幹線で通過している。
⇒プロモーションを強化し、滞在を促進す
る必要がある。

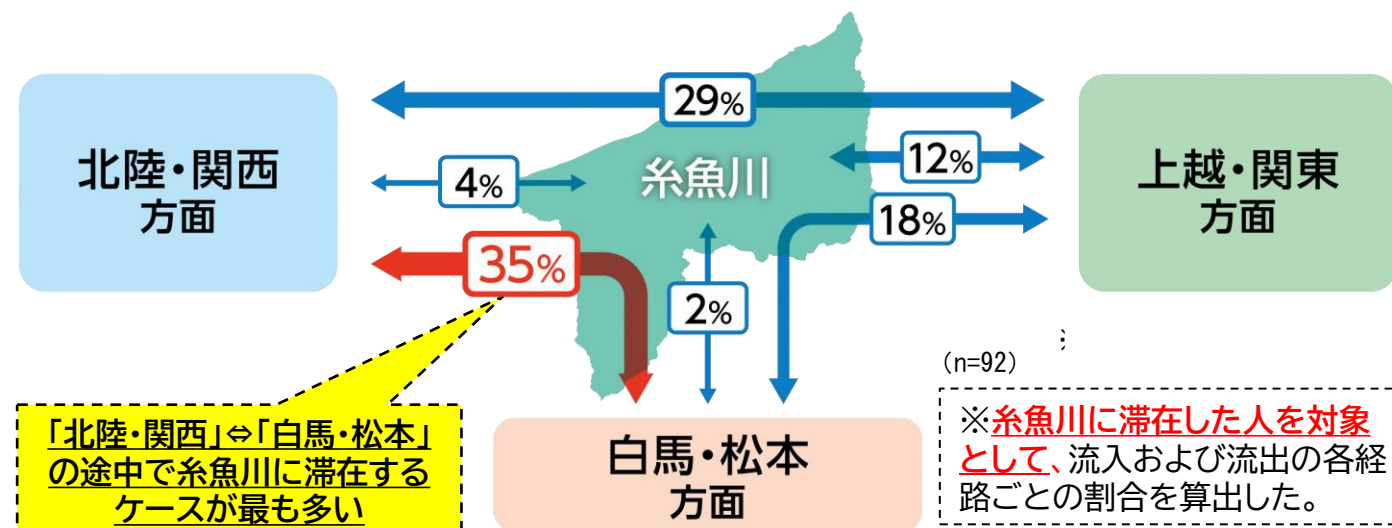
※市内滞在が23分未満は新幹線通過者と判定

※判定不可、工場等でログが確認された労働者と
推定される者は除外※【参考】全国はJNTO日本政府観光局公表データより
算出

2 糸魚川滞在の広域移動特性

集計対象(n) 市内滞在回数のうち経路
が確認できたケース

糸魚川に滞在した人の流入・流出経路



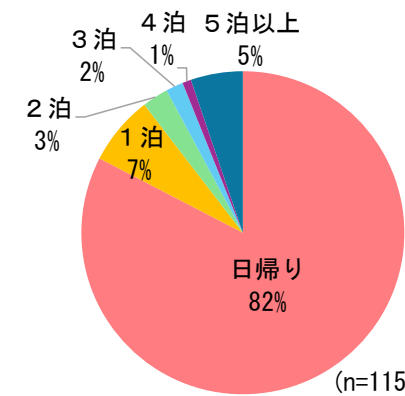
- 「北陸・関西」⇄「白馬・松本」の移動の途中で、糸魚川に滞在するケースが多く確認された。「白馬」「金沢」「京都」といった、主要観光地を目的とした移動によるものと考えられる。

⇒主要観光地はオーバーツーリズムによる夕食難民や宿泊施設不足などの問題を抱えている。周辺地域との連携を強化して、糸魚川への誘客を促進することはルート全体の魅力を高めるうえでも重要である。

3 糸魚川市内での滞在状況

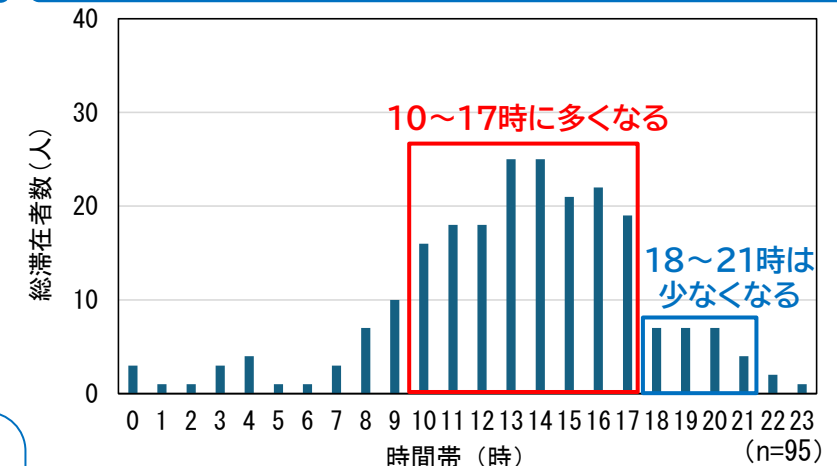
(1) 宿泊状況

集計対象(n):市内滞在回数



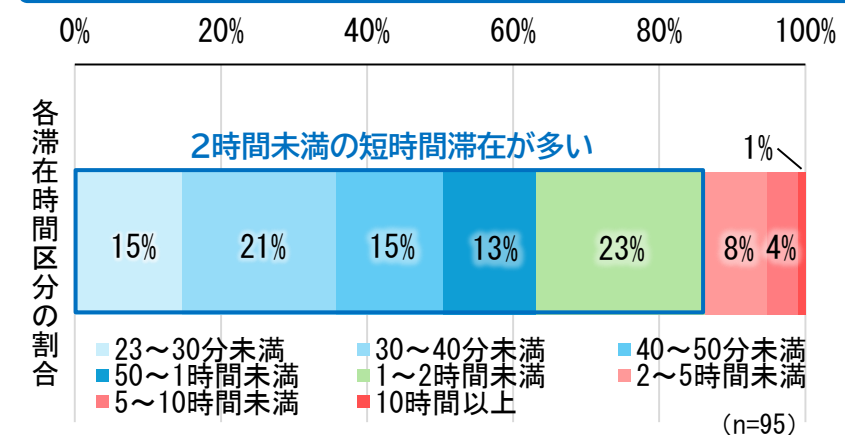
- 宿泊は全体の18%となっており、大半は日帰りでの滞在となっている。
- 宿泊者の国籍は「ベトナム」が約半数である。外国人労働関係の宿泊と考えられる。
- その他に「台湾」「オーストラリア」「中国」「香港」「インドネシア」からの宿泊も確認された。白馬を主目的とした宿泊と想定される。
⇒夜間のコンテンツや移動手段を充実させ、宿泊を促進する必要がある。

(2) 時間帯別の糸魚川駅周辺滞在者数

集計対象(n):市内日帰り
滞在回数

- 白馬を10時頃にチェックアウトする来訪者は、糸魚川駅に11～12時頃に滞在するケースが想定される。
- 白馬に15時頃にチェックインする来訪者は、糸魚川駅に13～14時頃に滞在するケースが多いと想定される。
⇒白馬への滞在をきっかけとした糸魚川への滞在・消費を促すため、移動手段の充実や魅力発信が求められる。
⇒夕食時間帯における滞在促進も課題である。

(3) 滞在時間(日帰り滞在者)

集計対象(n):市内日帰り
滞在回数

- 日帰り滞在者は「23分～2時間未満」の短時間滞在が多く、自動車での通過、短時間の立ち寄り、駅での乗り換えが多いと考えられる。
- 市内観光施設の滞在状況を見ると、全体の92%が糸魚川駅周辺に集中しており、その他の施設では訪日外国人の利用はほぼ確認されなかった。
⇒駅などを起点に、回遊したくなる仕掛けや動線・環境の整備を進め、PRしていく必要がある。

4 まとめ

- 「白馬・松本」⇄「北陸・関西」「上越・関東」の移動の途中で糸魚川に滞在するケースが多いため、この移動に着目したプロモーションが有効である。
具体的には……
白馬宿泊者は10時前後のチェックアウト後に、11～12時頃に糸魚川駅へ滞在するケースが想定されるため、昼食需要の取り込みが重要となる。また、チェックイン後の夕食需要を生み出すためには、白馬からの移動手段の充実や夜間コンテンツの整備、海鮮など糸魚川ならではの魅力発信が求められる。